

2018年(第26回)コスモス国際賞 受賞者

オギュスタン・ベルク博士
(フランス国立社会科学高等研究院教授)

「風土としての地球」という概念をもとに「自然と人間との共生」について独自の研究を進め、今後、人類の生存を方向づける哲学的指針を提起した

オギュスタン・ベルク博士

Dr. Augustin Berque

- 生年 1942年9月6日(75歳)
- モロッコ・ラバト生まれ
- 国籍 フランス
- 現職 フランス国立社会科学
高等研究院教授



●学歴

1959年-1967年

パリ大学、オックスフォード大学などで、地理学、中国語、日本語を学ぶ

1969年

パリ大学で博士号(地理学)

1977年

パリ第4大学で博士号(文学)

●専攻

人文地理学・哲学

●主な受賞歴

1995年

日本文化デザイン賞

1997年

山片蟠桃賞

2006年

日本建築学会賞文化賞

2009年

福岡アジア文化賞大賞

2011年

国際交流基金賞

2012年

日本研究功労賞

2015年

旭日中綬章

2017年

KYOTO地球環境の殿堂
入り



1970年12月、北海道大学フランス語講師の頃
北海道の開拓史をテーマとした
博士論文を準備していた。



2011年6月24日、立教大学での講演。
主語と述語 (S/P)、ユクスキュルのことばが見える。

2011年、七夕、山内得立の迹を追って、
奥飛驒新平湯にて。



ベルク博士の業績

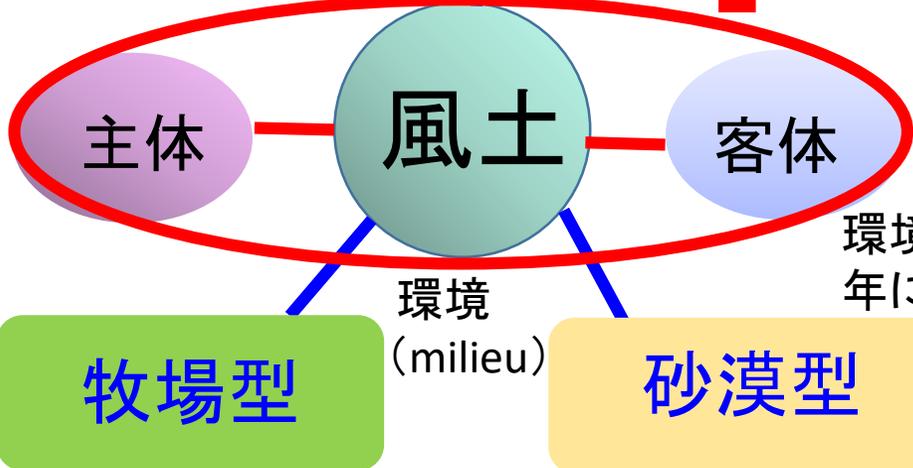
1. 風土学 (mésologie) を構築
2. 自然と文化の二元論や環境倫理における人間中心主義を批判的に克服しつつ、自然の主体性論を提唱

1. ベルクによる「風土学」の構築

- 和辻哲郎『風土論』: 風土と文化の関係を論じた→ベルクへの影響。場所性の議論。
- 環境決定論か? → 風土を無視したグローバル化への批判。
- 西洋科学を基盤とする世界の把握→観念・感覚を踏まえた世界構築が不可欠。
- 自然は内側(文化)にして外側である。多中心主義



モンスーン型

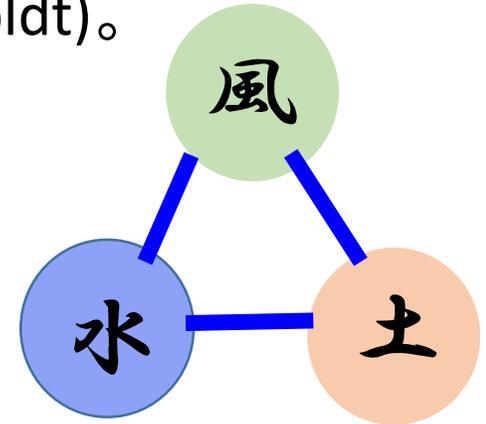


- 風土の感覚的・象徴的次元の表象 = 風景 (paysage)
- 人間と風土の相互作用の通態化 (trajection)
- 「風」(文化)なしの「土」(自然)の上には、人間は立つことはできない→エクメーネ(Humboldt)。
- 「暑い」: 1) 大気 or 2) 感覚?

風土・風水・水土

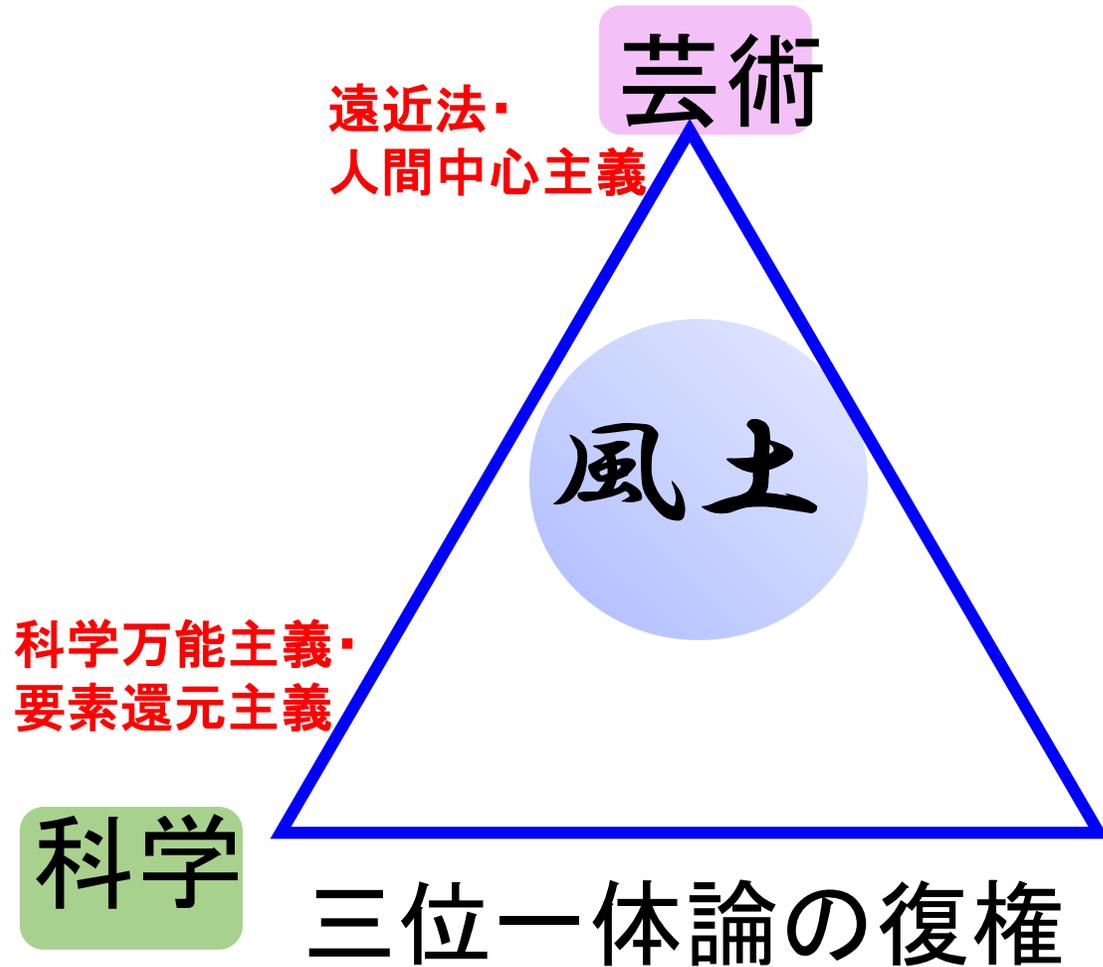
Cf. 「土地の倫理」Land ethics

環境: 唐代の『新唐書』(嘉祐6(1060)年に使用(environment))



- 風貌・風格・気風・風采・風付き・風骨・風袋
- 風俗・風習・風物・国風・和風・風神

2. 自然の主体性論：現代の環境の総体的荒廃＝近代の主体がその風土性 (mediance) を否定。「殺風景」を生み出した（晩唐の詩人、李商隱の言）。



- 物理的なもの（自然）と現象的なもの（文化）との近代的な二元論を乗り越える風土と風景の科学
- 従来の西洋的自然観に基づく環境科学や環境倫理とは異なる、東洋的自然観を基盤に据えたユニークな環境人間学
- 環境保全における「北の論理」を批判
- 自然にも主体性があるとする哲学論

交錯する世界 自然と文化の脱構築

フィリップ・デスコラとの対話

秋道智彌 編

フィリップ・デスコラ 寄稿



京都大学学術出版会

秋道編 2018
京都大学学術出版会

デスコラ氏は、2014年に
コスモス国際賞を受賞。

A. デスコラ (Descola, P.)

		身体性	
		類似	異質
内面性	類似	トーテミズム	アニミズム
	異質	自然主義	類推主義

人間と自然の関係性を、
身体性と内面性に着目し、
両者の間の異同性につ
いて検討した存在論。

B. ベルク (Berque, A.)

		身体性
		類似/異質
内面性	類似	主体性 Subjectivity

人間主体

C. ユクスキュル (Uexküll, J. von)

		身体性
		類似/異質
内面性	異質	環世界 Umwelt

生物主体

存在論に関する3つのパラダイム (秋道 2016; 2018)

ベルク博士の東日本大震災復興との関わり

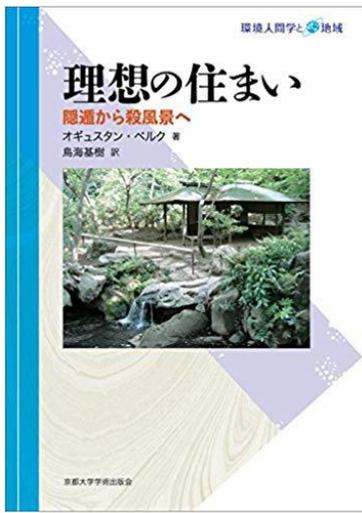
たびたび来日して被災地を訪れ、数々のシンポジウムに参加されるとともに、「殺風景(風景を殺す)」をキーワードにして被災地の復興計画に対しても有益な助言を行ってきた。



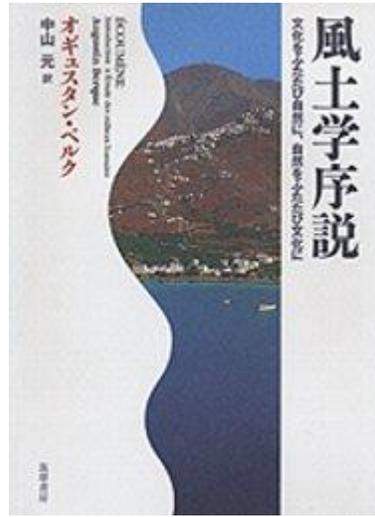
浪分神社で慰霊の参拝をするベルク博士。
2012年3月11日



岩手県大槌町役場前での慰霊祭。この場で
加藤町長が津波で罹災して命を失った。
2013年3月11日



京都大学学術出版会
2018



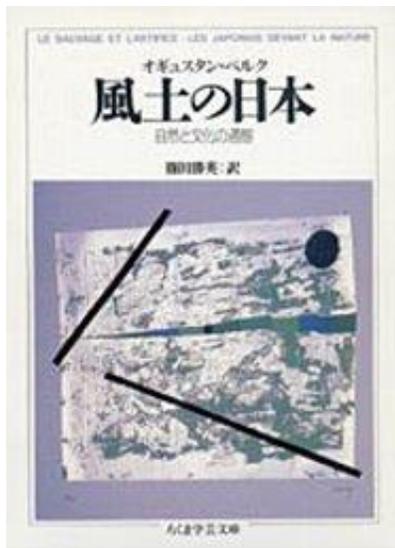
筑摩書房
2002



ちくま新書
1996



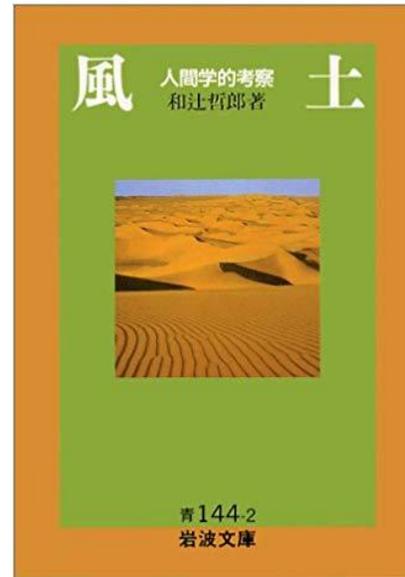
ちくま学芸文庫
1994



ちくま学芸文庫
1992



講談社
1990



和辻哲郎 岩波書店
1979



木岡伸夫 幻冬舎
2018